

# すいた 商工会議所 ニュース

THE NEWS OF SUITA CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

URL <http://www.suita.cci.or.jp/> 会議所でほっと笑顔に 吹田商工会議所 検索

吹田商工会議所報 平成28年3月10日発行（毎月1回10日発行）第35巻第12号 通巻第417号 平成5年1月21日第三種郵便物認可



## 時代は変われど、 暮らしの中で快適なサッシづくりを目指す

新装サッシ工業 株式会社  
代表取締役 竹内 和則氏

新装サッシ工業株式会社は、創業 45 周年を迎えられました。

2 代目の竹内社長は、24 年間に亘って、製作から営業、工事現場の職人さんの采配まで、すべての業務に携わってこられました。

時代の変革により、求められるものは変わっても、暮らしの中で必要とされるサッシ、その品質向上を 37 名の従業員とともに目指し続けられておられる竹内社長にお話を伺いました。



代表取締役 竹内 和則氏

——創業の経緯についてお聞かせください。

創業者である先代社長は、サッシ会社に勤めていましたが、そこで培った技術と経験を活かし、思い入れのある吹田の地に「嵯峨金属」という名称で会社を設立しました。

この業界では、スピードが重視されます。吹田は地理的に、大阪や神戸など、どこの現場に行くにも便利で、発注を受けてから迅速に対応するには、もってこいの場所でした。

そして、製品を作ってからすぐ現場に届けられるので、材料の在庫はありますが、製品の作り置きはしていません。そのため、広い用地は必要なく、吹田という便利な土地を選ぶことができました。

——様々な素材を取り扱っていらっしゃいますね。

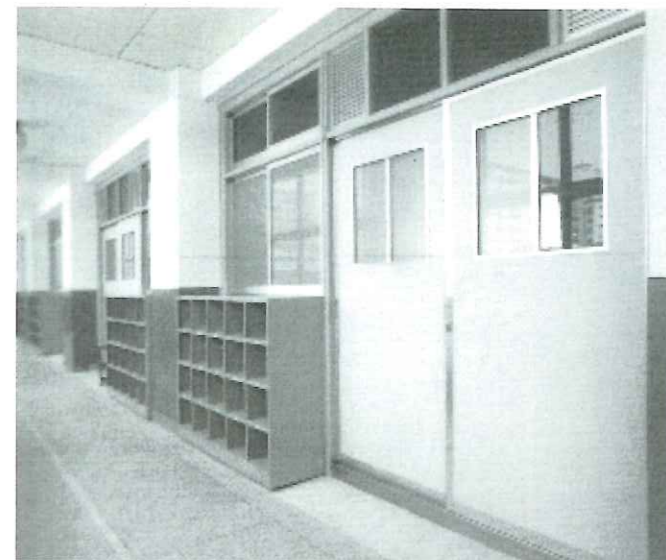
当社は、ビルのサッシを作る会社で、アルミ・スチール・ステンレスなど、すべての素材を取り扱っております。

昔は、メーカーごとに扱っている素材が決まっておき、必要とする製品の素材ごとに、メーカーに発注するのが普通でした。当社も創業当初はアルミ製品のみを取り扱っていましたが、現場からは様々な素材を一カ所で取り扱ってほしいという要望もあり、それに応えるため、まずスチール工場を作りました。そして、平成12年には、ステンレス用の設備も導入し、全ての素材の製品を取り扱うことができるようになりました。

以前は、主に官公庁や学校の改修など、公共工事の仕事を中心に請け負っており、依頼される製品も大体決まっていた。その後、ステンレスの製品も扱うようになってからは、民間工事の仕事も受注できるようになりました。

——貴社の強みを教えてください。

創業当初から、設計・作図・製作・塗装・取り付け・調整・メンテナンスまで、一貫して自社の工場で行っております。サッシ屋というと、普通はメーカーから製品を仕入れて販売している会社が多いと



思います。しかし、私たちは自社で工場を持っており、加工して迅速に現場までお届けすることができます。このような一貫したサービスを提供できる組織力と技術は、当社が一番の強みです。

木造住宅の場合、サッシの規格が決まっているため、カタログで既製品を選ぶことができます。しかし、ビルに関しては、寸法が同じものはありませんので、すべてオーダーメイドの商品になります。当社では納期について、大手メーカーでは対応しきれないような場合でも、臨機応変に対応することができます。小回りが利き、その場その場にあったモノづくりができることに自信をもちています。

——これからの課題は何ですか。

当社では、従業員が徐々に、ベテラン世代から20代前半の若手世代へと移ってきました。それにより、今まで培ってきた技術が衰えないよう、しっかりと引き継ぎをして育てていくことが課題です。また、繁忙期には、配属された部署以外の仕事にも応援に行くことがありますので、色々な業務を経験するよう訓練をしています。

製品について、安心安全やバリアフリー、防音など、昔とは求められるものが変わってきています。サッシの形は四角形から変わりませんが、材質や大きさ、塗装など、より幅広いご要望にも対応できるよう、新しい設備を導入することも考えています。

——お忙しい中、貴重なお話をいただきありがとうございます。今後益々のご発展を祈念申し上げます。

新装サッシ工業 株式会社

〒564-0012 吹田市南正雀4丁目7-3

TEL : 06-6382-6901

FAX : 06-6382-6905